事務事業名 図書館運営事業

出力日：令和07年03月18日
キーコード：700

施　　策：	20	生涯学習・社会教育の推進	財務コード	01090609-03-582
基本事業：	05	読書活動の推進	担当部	教育部
基本事業の成果指標	①図書館の年間利用者数 ②図書館の設備・資料の満足度		担当課	文化・スポーツ振興課
			担当係	文化振興・図書館担当

事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成02年度　～	新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画	○

１．対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民、在勤、通学者、福岡都市圏住民及びすべての来館者

２．手段（事務事業の内容、やり方、手順）

市民図書館は、平成2年11月に開館し、市民が身近な生涯学習の場として、図書資料や情報等の提供を行っている。さらに、ブックスタートや講座、講演会等を行うとともに、遠隔地40ヶ所に移動図書館車（つくしんぼ号）を運行し、市民一人ひとりが読書の楽しさや必要性を知っていただくよう努めている。
・開館時間　午前10時～午後6時（ただし、金曜日、土曜日は午後8時まで）
・休館日　月曜日（祝日を除く）、月末最終水曜日、特別整理期間、12月28日から翌年1月4日
・主催講座等　8回
・運営方法　運営の一部を民間事業者に委託し運営している。

３．意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

読書に親しみ、広く本の世界に触れることで、情操をはぐくみ、知識や思考力を育成する（乳幼児から青少年）。
社会生活上必要な情報を得ることと調査研究に資する（全ての世代）。
娯楽、教養、レクリエーションに資する（全ての世代）。

４．成果（簡易評価は未記入）

成果指標名称	単位	04年度 実績	05年度 実績	06年度 当初	07年度 要求	08年度 計画	09年度 計画	目標
貸出総冊数	冊	714,092	706,353	725,000	715,000			
新規の登録者数	人	3,074	3,163	2,500	2,500			

５．コスト

		単位	04年度 実績	05年度 実績	06年度 当初	07年度 要求	08年度 計画	09年度 計画	目標
事業費	計	千円	82,277	81,859	96,410	98,411			
	国	千円	0	0	0	0			
	県	千円	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0			
	その他	千円	46	47	31	31			
	一般	千円	82,231	81,812	96,379	98,380			
正職員人工数		人工	1	1	1				
正職員人件費		千円	7,728	7,815	8,023				
トータルコスト(事業費＋正職員人件費)		千円	90,005	89,674	104,433	98,411			

６．成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）

○あがっている
○どちらかといえばあがっている
●あがっていない（停滞・低下）

<状況>市民図書館における新規登録者数は増加しているが、貸出総冊数は減少している。
<原因>コロナ禍後における余暇の過ごし方の変化やデジタル化の増進による本離れが現れていると思われる。令和5年度は、電子図書館の貸出冊数は微増している。
近年、全国的な傾向として、子どもの読書離れ、活字離れが現れており、国においても文字・活字文化法や子どもの読書活動の推進に関する法律を制定し、読書力の向上に努めている。本市においても積極的かつ継続的な事業を検討する必要がある。

７．評価及びコメント（簡易評価は未記入）

対象動向	維持	類似事業	なし
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり
成果向上余地	中程度		

学校図書館支援、読書ボランティア育成、地域等の更なる連携を進めるために、現在の支援体制の強化が求められる。

８．改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）

■改善方向性　●維持　○見直し　○廃止　○事業終了

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持／事業終了の場合は記入する必要なし）

・令和4年9月より電子図書館を導入。
・令和6年度に図書館システムの更新を行う。

■事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）

昭和62年まちづくりプロジェクトが市長に対し提言書「筑紫野市立図書館建設について」を提出。平成2年11月中央公民館図書室を閉鎖し、現在の図書館を開館した。開館時間は火～日、10時から18時（金、土は20時）貸出型の館である。滞在型への要望があるが、構造上変更は難しい。

■備考･特記事項ｏｒ進行管理欄